

# 第7期 中間のご報告

(2010年4月1日～2010年9月30日)

## 当第2四半期(累計)の連結業績

### 営業収益

5,081 百万円

### 経常利益

801 百万円

### 四半期純利益

453 百万円

### 総資産

46,245 百万円

### 純資産

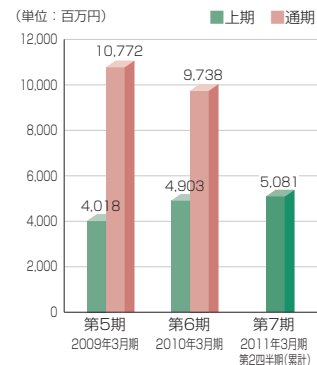
9,769 百万円

### 1株当たり四半期純利益

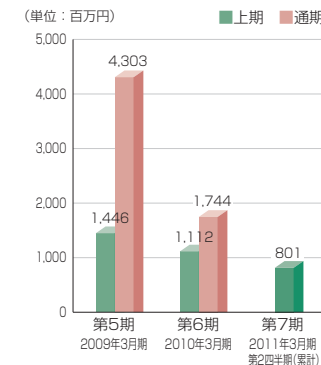
1,460円40銭

## 財務ハイライト

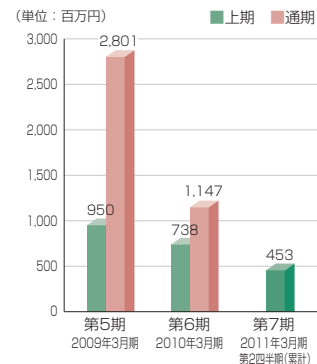
### 営業収益



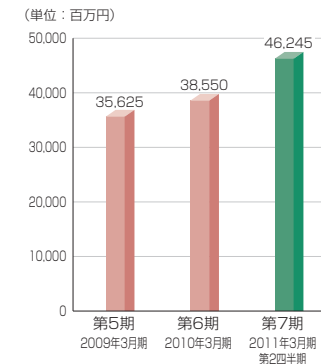
### 経常利益



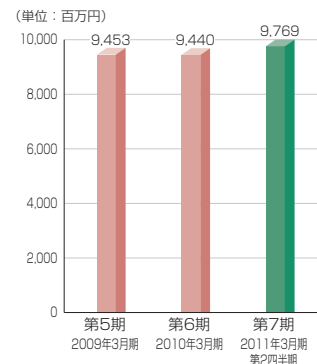
### 四半期(当期)純利益



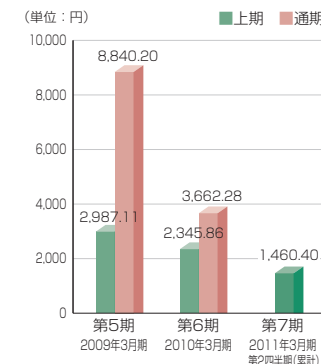
### 総資産



### 純資産



### 1株当たり四半期(当期)純利益



※営業収益には、消費税は含まれておりません。

## トップインタビュー



株式会社マネーパートナーズグループ  
代表取締役社長 奥山 泰全

### ■ ごあいさつ

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第7期事業年度の中間業績（2010年4月1日～2010年9月30日）の概況についてご報告申し上げます。

外国為替証拠金取引（FX）は、本年2月の顧客預託金の信託の完全義務化や8月のレバレッジ規制を受け、個人投資家の方にとって一層透明度を増し一般化してきており、着実な認知度の向上とともにますます開かれた投資商品に成長しつつあります。当社グループの提供するサービス「パートナーズFX」の顧客口座数も2010年10月には15万口座を超え順調に拡大を続けております。当社グループは、規制強化等足下の環境が厳しい中、着実に施策を積み上げていくことで、業容をより安定かつゆるぎないものとするべく取り組んでおります。

また、外貨両替等をはじめとした実需のお客様にも利便性良くご利用いただける環境を整備し、軸となる外国為替の事業をさらに拡張していくとともに、本年7月には証券取引のオンラインによる買付業務もスタートするなど、今後も多面展開を堅実に進めてまいります。

引き続きお客様第一を貫き、創意と工夫をもってより多くのお客様に受け入れられる企業集団となることを目指してまいります。

株主の皆様には一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### DON'T STOP!

当社グループは、「Don't Stop!」を社是とし、企業理念として掲げている「カスタマーファースト」「バリューアップ」「イノベーション」「コンプライアンス」の四つの基本コンセプトの実現に向けた取組みを継続的に実行し、かつ「止めない」ことを会社経営の基本方針としております。

ミッション

投資家の保護育成と顧客第一主義に努め、外国為替証拠金取引市場の健全な発展に寄与する。

Q1

上期の経営環境と業績について説明してください

A

低い変動率やレバレッジ規制施行等、事業環境が厳しい中、着実に歩みを進めております。

上期は、外国為替市場における変動率が低調であったことや、レバレッジ規制の施行等、厳しい経営環境となりました。そのような中、当社グループは強みである約定力の訴求や主要な通貨ペアの顧客提示スプレッドの縮小、積極的なキャンペーンを実施する等、商品性や顧客サービス面において様々な取り組みを行いました。この結果、取引高は前年同期比約41%増となる5,130億通貨単位となりました。一方、営業収益は5,081百万円（同3.6%増）となったものの、経常利益は同28%減となる801百万円となりました。

Q2

レバレッジ規制後の当社グループへの影響について説明してください

A

業界の透明性と健全性の向上に取り組んでおります。

8月のレバレッジ規制の施行後、FX業界においては、競合各社による競争が一層激化してきています。当社グループでは、商品性の強化等により対応を行っておりますが、これに伴う取引高当たりの収益性の低下等も発生しており、下期以降の業績回復に向けて取り組んでおります。

Q3

海外展開の状況について教えてください

A

韓国の証券会社と業務提携に係る基本合意を行いました。

韓国の最大手オンライン証券会社であるKiwoom証券とFX取引に関する業務提携について基本合意書を締結し、具体的な協議を進めております（※）。今後、成長が見込める韓国のFX市場にアクセスすることは、当社グループのFX事業におけるBtoBビジネス展開の一環として、収益基盤の拡大に繋がるものと考えております。 ※2010年11月末現在

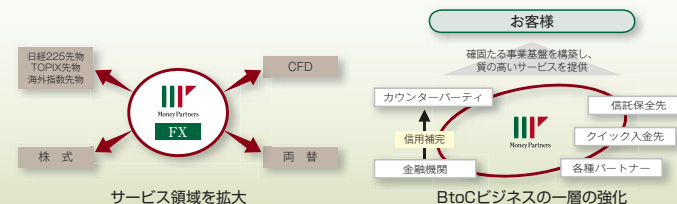
Q4

今後の事業展開について説明してください

A

より多くの方々に受け入れられ必要とされるサービスの提供を目指してまいります。

FX事業を中心にサービス領域を拡大しつつ、当社グループの主軸であるBtoCビジネスをより一層強化してまいります。また、既存のアライアンス先との関係強化を図るとともに、新しいBtoB展開を推進し、新サービスの追加や実需インフラサービスへの展開を目指してまいりたいと考えております。



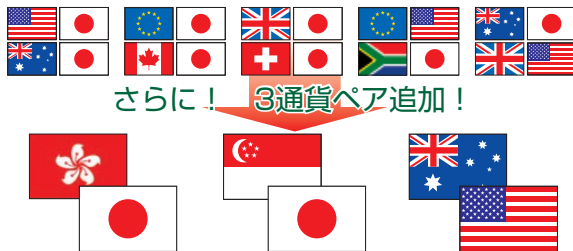
会員専用サイト開設



マネーパートナーズ会員専用画面「会員専用サイト」のご案内  
**会員専用サイト**  
**資産状況が一目瞭然!**  
 FXや証券の各サービスにまたがるお客様の資産状況、入出金や各サービス間での資金の振替・移動の指示、登録情報の変更などを、ひとつの画面内で包括的に管理することが可能  
 [2010年4月10日 09:55:42 証券部/PC/0503/1/0001/0001]

外国為替証拠金取引以外の金融商品の取扱い等、将来的なサービスの拡充を見据え、顧客資産の全体の状況が包括的に把握でき、運用面でも顧客利便性が高まる会員専用サイトを4月10日に開設しました。

通貨ペアの追加



さらに! 3通貨ペア追加!  
 5月24日には顧客より多数の要望のあった、香港ドル/円、シンガポールドル/円、豪ドル/米ドルの取引通貨ペア3種類を新たに追加しました。

レバレッジ規制施行

「証拠金倍率」を最大25倍とする規制が8月より施行されました。倍率規制の導入で過度な投機的取引が抑制され、顧客保護が図られるようになりました。  
 (※経過措置として2010年8月より1年間は最大50倍になります。)



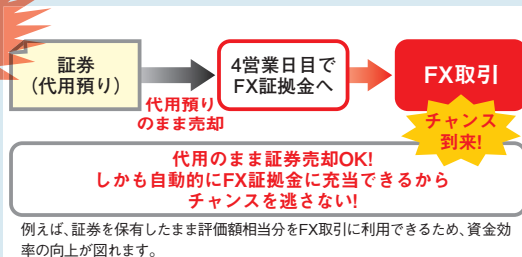
有価証券取扱いサービスの強化

有価証券関連業務の拡充施策の一環として、7月26日に新たに有価証券の新規買付けの取扱いを開始しました。株式売買を可能とすることで顧客に対し幅広い資産運用の機会を提供したり、保有株式を有効に活用していただくため代用有価証券機能が強化され、顧客の利便性がさらに向上いたします。

損益相殺で  
為替リスク回避



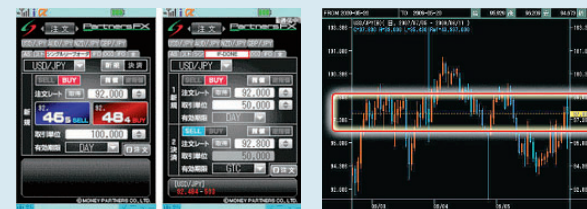
代用のままでも  
簡単に売却OK



買付け開始!

7月より有価証券の新規買付けの取扱いを新たに開始したことにより、証券会社としての基本的な機能が揃い、より一層の顧客利便性の向上を実現!

各種取引ツールのバージョンアップ



2010年9月、パートナーズFX専用取引ツールの次世代版となる『HyperSpeed NEXT』(ハイパースピードネクスト)をリリースしました。  
 HyperSpeed NEXTは現行のHyperSpeedの機能性を網羅するとともに、システムトレードの実装を前提としたバックテスト(過去の値動きデータを使ったテスト)、リアルタイム売買シグナル等の新たな機能を備えました。快適な操作性はそのままだに、その大きな特長である豊富なテクニカルを利用したのチャート分析にまつわる各種機能をさらに充実させています。

## ◆ 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期末 2010年9月30日現在	前期末 2010年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	43,789	35,944
固定資産	2,455	2,606
有形固定資産	221	257
無形固定資産	1,404	1,493
投資その他の資産	829	855
<b>資産合計</b>	<b>46,245</b>	<b>38,550</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	36,476	29,109
特別法上の準備金	0	0
<b>負債合計</b>	<b>36,476</b>	<b>29,109</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	9,702	9,388
資本金	1,786	1,786
資本剰余金	1,862	1,862
利益剰余金	6,713	6,399
自己株式	△660	△660
評価・換算差額等	△1	△1
新株予約権	68	53
<b>純資産合計</b>	<b>9,769</b>	<b>9,440</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>46,245</b>	<b>38,550</b>

## ◆ 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2009年4月1日から 2009年9月30日まで
営業収益	5,081	4,903
金融費用	5	1
売上原価	23	20
純営業収益	5,052	4,880
販売費・一般管理費	4,238	3,768
営業利益	814	1,112
営業外収益	33	56
営業外費用	46	56
経常利益	801	1,112
特別利益	-	0
特別損失	21	-
税金等調整前四半期純利益	779	1,112
法人税、住民税及び事業税	332	293
法人税等調整額	△6	80
少数株主損益調整前四半期純利益	453	-
四半期純利益	453	738

## ◆ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2009年4月1日から 2009年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,797	3,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227	△278
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139	△826
現金及び現金同等物の増減額	1,430	2,682
現金及び現金同等物の期首残高	4,164	7,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,595	9,692

## ◆ 会社概要 (2010年9月30日現在)

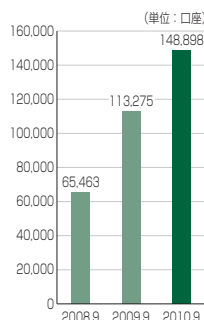
商 号 株式会社マネーパートナーズグループ  
 U R L <http://www.moneypartners-group.co.jp/>  
 本 社 所 在 地 東京都港区六本木一丁目6番1号  
 代 表 者 名 代表取締役社長 奥山 泰全  
 設 立 2005年6月10日  
 資 本 金 17億8,622万円  
 従 業 員 数 18名(連結:94名)  
 関 係 会 社 株式会社マネーパートナーズ  
 株式会社マネーパートナーズソリューションズ  
 事 業 内 容 持株会社としてグループ全体の株式を保有することにより、当社グループ全体の経営戦略、経営管理機能を担っています。

## ◆ グループ企業紹介

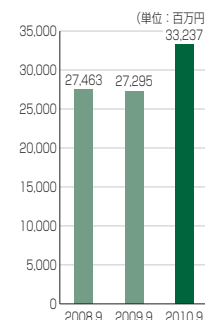
### ● 株式会社マネーパートナーズ

株式会社マネーパートナーズは、FX事業を中心として営む金融商品取引業者です。同社は一般顧客向けのFX事業に加え、金融商品取引業者向けに外国為替取引システムのホワイトラベル提供等を行っています。

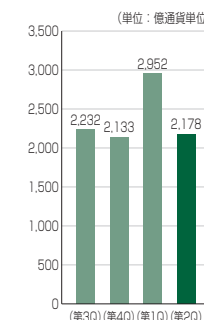
### ■ 顧客口座数



### ■ 顧客預り証拠金



### ■ 外国為替取引高



(注) 顧客口座数、顧客預り証拠金・・・各第2四半期末時点の口座数、預り証拠金残高  
 外国為替取引高・・・各四半期毎の3ヶ月間の取引高

### ● 株式会社マネーパートナーズソリューションズ

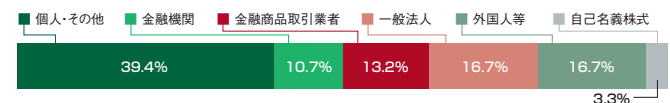
株式会社マネーパートナーズソリューションズは、FXに関するコンピュータシステムの設計・開発を通じ、複雑で多岐にわたるシステム構築の実績とノウハウを有しています。

## ◆ 株式の状況 (2010年9月30日現在)

発行可能株式総数 1,080,000株  
 発行済株式の総数 321,480株  
 株主数 7,281名  
 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
東短ホールディングス株式会社	37,500	12.06%
楽天証券株式会社	33,809	10.88%
エフエスシー・アドバンス・グループ・システムズ株式会社	27,000	8.69%
メロンバンク エアードリーター クライアント オムニバス	17,008	5.47%
野村信託銀行株式会社(信託口)	14,288	4.60%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,051	3.56%
ジャフコV2共有投資事業有限責任組合	8,679	2.79%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,202	2.32%
北辰不動産株式会社	6,270	2.02%
ザチエスマルハンバンク エイロソシエツルオムニバスアカウント	3,932	1.26%
大株主上位10名の合計	166,739	53.64%

(注) 1. 上記のほか、自己株式10,623株を保有しています。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。



## ◆ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月  
 上記基準日 3月31日  
 その他基準日を定める場合は、あらかじめ公告します。

配当金受領株主確定日 3月31日  
 期末配当金 9月30日  
 中間配当金 9月30日  
 公告方法 電子公告 <http://www.moneypartners-group.co.jp/>

ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店  
 事務取扱所 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

### (ご注意)

1. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。  
 2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店支店でお支払いいたします。

## ◆ 配当について

当社は利益還元に関し、株主の皆様のご期待にご支援に一層応えてまいりたいとの考えから、継続的かつ適正な利益還元を経営の重要課題と位置付けています。具体的には、年間の配当性向の目処を連結当期純利益の30%とし、中間配当及び期末配当の年2回実施することとしています。  
 2011年3月期の中間配当につきましては、上記の方針に基づき、1株当たり450円(配当金の総額139百万円)とさせていただきます。